

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 13 日

事務事業名		野犬苦情対応				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	041104000243
総合計画の施策名		0411	生活環境の保全			単独/補助	単独	所属課	030301
政策名		04	快適で潤いのある生活環境づくり			主要事業		環境対策課	
施策名		11	生活環境の保全			市長マニフェスト			
基本事業名		04	犬の登録及び適正管理の推進			未来PJ事業		グループ	環境公害対策G
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業		
法令根拠		狂犬病予防法				単年度繰返し (年度~)			
【Do】		1. 事務事業の現状把握(その1)				☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
野良犬の苦情内容により、現地確認や保護・捕獲による対応を行う。また、市民等への捕獲箱の貸し出し、苦情内容により動物指導センターへの苦情処理依頼を行う。 捕獲箱について、ハクビシンや野良猫の捕獲での貸し出し依頼がまれにあるので、犬の捕獲以外は、断るように努める。	状況に応じて、捕獲箱の設置、看板等の設置、飼い主等への指導などを行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
苦情現場の調査、捕獲箱の設置。	処理件数	件	56.00	60.00	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
野犬	苦情件数	件	56.00	70.00	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
野犬を捕獲し、咬傷事故等の予防及び狂犬病の発生を予防する。	捕獲頭数	頭	66.00	59.00	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	4	4	8	8	8
	事業費計(A)	千円	4	4	8	8	8	
人件費	正規職員従事人数	人	6.00人	6.00人	6.00人	6.00人	6.00人	
	述べ業務時間	時間	776.00	627.00	650.00	650.00	650.00	
	人件費計(B)	千円	2,251	1,819	1,886	1,886	1,886	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,255	1,823	1,894	1,894	1,894	

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	4		11 需用費	8	
		合計	4		合計	8

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	野犬苦情対応	事務事業No.	41104000243	所属課	環境対策課
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	野犬による咬傷事故等を防止するため、以前から県の協力要請により実施している。平成16年10月より、飼い犬(飼い猫)の引取りが有料化になったため捨て犬が増え、それが野犬化し年々増えている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？	野犬が多い、子供たちに近寄り危険なので捕獲してもらいたい等。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	野犬を減らすことにより安全で快適な住環境で暮らすことができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	咬傷事故減らしたり、狂犬病の予防策にも繋がる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	野犬、野良猫などに餌付けする市民、捕獲箱に入った犬を逃がす市民などがあるため、野犬の駆除が難航している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	野犬を放置しておくことと交配により益々野犬が増えて危険である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	捕獲用のえさ代なので最小限である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民全体の生活の安全に係る事業である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民へ野犬駆除の目的、狂犬病の危険性などを周知して、安全なまちづくりに努める。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>	成果	向上		○		維持			×	低下			×
成果	向上			○										
	維持				×									
	低下			×										
野犬に対し、「かわいそう」という気持ちが先行して、野犬保護に努める市民がいるため、捕獲が滞っている。また、放し飼いや避妊・去勢手術を行わないため、生まれた子供を捨てるのが野犬の増加につながっていると考えられる。今後は、飼養のマナー向上に努め、野犬駆除を行う。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>